

待 兼 山



大阪大学経済学部同窓会

2019年（平成31年）4月1日 第35号

ホームページ <http://www.machikaneyama.jp>



「この一年の出来事」

同窓会名誉会長 経済学研究科長・経済学部長 谷崎 久志

私が研究科長・学部長になって早いもので一年半がたちました。経済学研究科・経済学部のこの一年の出来事について、述べたいと思います。大きく4つのことがありました。

経済学部70周年記念事業について：

経済学部の卒業生の皆様、そして、企業など法人の皆様、経済学部70周年記念事業に対してご支援を賜り、心より感謝申し上げます。1948年に法文学部・経済学科が新設されて、2018年は経済学部にとって開設70年にあたる年でした。70周年記念事業の大きなテーマとしましては「国際性と先

進性を備えた人材育成」としています。その中の一つ目の事業は研究者育成の支援、二つ目は留学支援体制の整備、三つ目は大阪の社会・経済界に対する貢献などです。2019年度からこれら事業を実行していきます。実のある事業になるようにしていきたいと考えています。

新入生保護者懇談会について：

保護者の方々にも本学経済学部の実情について理解を深めていただき、大学をより身近な存在に感じていただく機会として、平成30年度入学式当日（2018年4月3日）に、経済学部新入生の保護

「第23回大阪大学経済学部同窓会総会・懇親パーティー」のご案内

日時	7月6日(土) 14時30分～18時30分 (14時より受け付け)	〈次第〉	14時30分～ 総会 15時15分～ 記念講演 住友商事株式会社 会長 中村邦晴 氏 「サステナブルな企業経営」 16時30分～ 懇親パーティー
会場	リーガロイヤルホテル大阪 タワーウイング3階 光琳の間 (大阪市北区中之島5-3-68 TEL 06-6448-1121)		
会費	事前振込 5,000円 (当日 6,000円)		※同窓生の皆様の奮ってのご参加をお待ちしています。(18時30分終了予定)

者の皆様を対象に、大阪大学・豊中キャンパスにて、第一回新入生保護者懇談会を開催しました。参加者は約60名でした。内容は、経済学部長挨拶、経済学部の教育について、学生生活について、留学関係、70周年記念事業などをご説明し、最後にご意見ご質問等を受けました。保護者の方々もお子様の学生生活にはご興味を持っておられる様子が私たちにも伝わってきました。今後も引き続き新入生保護者懇談会を行いたいと思っています。

経済学研究科長選考規程の改正について：

これまで本学経済学研究科長（経済学部長も兼ねる）の任期は2年という規程でした。何らかの事情で研究科長が辞めた場合、辞めた日から2年間で次の研究科長の任期となっていました。ちなみに、私の任期は2017年8月26日から2年間です。新学期は4月から始まり、研究科長も学期に合わせて4月から就任の方が大学全体としては都合がよいということで、4月1日から新研究科長の任期が始まるというように研究科長選考規程を改正しました（他部局でも同様です）。ただし、次の研究科長の任期は、調整期間として、2020年3月31日までとなります（7か月間の研究科長）。

それ以降、研究科長の任期は4月1日からの2年間となります。もし仮に任期途中で研究科長が辞めることになった場合は、残任期間が次の研究科長の任期となります。

経済学専攻博士前期課程「経済制度・事例分析コース」の開設について：

経済学専攻博士前期課程には「経済学コース」、「歴史コース」、「応用経済コース」の3コースがありましたが、2019年4月から「経済学コース」、「応用経済コース」、「経済制度・事例分析コース」の3つに再編されます。経済学の中には経済史・経済学史など歴史分野も含まれているため、「歴史コース」を「経済学コース」に統合することにしました。さらに、日本経済・世界経済における具体的な制度・事例分析・歴史的発展過程に関心をもつ学生（社会人学生を含む）を受け入れることとし、「経済制度・事例分析コース」を開設することとしました（従来ではこの分野の学生をカバーできませんでした）。

以上ですが、案外、いろいろありました。同窓会の皆様、今後ともよろしく願いいたします。



同窓会長ご挨拶

SDGsで大阪・関西2025年万博を

経済学部同窓会 会長 古川

実 日立造船株式会社 相談役（新14期）

同窓会会報「待兼山」の発行に当り、一言ご挨拶申し上げます。

まず初めに、昨年9月経済学部は創立70周年を迎えましたが、その記念事業に対し同窓会諸氏より頂きました多くのご寄付に対し、心から厚くお礼申し上げます。

さて、本年4月30日に平成時代は終了し、5月1日より新天皇による新しい時代が到来します。現天皇ご存命中の大変慶賀すべきご譲位で、200年振りのことです。

昨年度本会報において、私は平成時代を特徴づ

ける次の3つの大きな事象について私の所感を申し述べました。

第1は、昭和から平成にかけてのバブル崩壊により民間企業では雇用、設備、債務の3つの過剰が発生し、その処理が大きな問題となりましたが、都市銀行の不良債権処理を通じ何とか対処することが出来ました。これからも不断の構造改革が必要です。

第2は、大地震の発生と異常気象による風水害の多発化です。特に異常気象による災害の多発化は我が国のみならず世界的な現象となっています。

これは地球温暖化による影響であると認めざるを得ません。この影響への適応のため我が国では100兆円規模の大型国土強靱化投資が必要であると申しあげました。また、地球温暖化の原因であるCO₂削減のためには原子力発電の本格的再開と再生エネルギーの拡大が必須です。

第3は、国・地方合わせて1,000兆円に達する債務の圧縮が進んでいないことです。先送りされているプライマリーバランスの早期達成が何より望まれます。経済成長が先か、財政再建が先かの神学論争から脱却し、着実な財政健全化への道に戻るために本年10月1日付の消費税10%への引き上げは是非必要です。この引き上げによる財政収入増加は5兆円です。金利が1%上昇すれば金利負担が10兆円も増加するのです。医療・介護・年金を含めた社会保障改革と財政健全化の同時推進が強く望まれます。以上、昨年申しあげた3つのうち第2、第3は引き続き対処しなければならぬ大きな問題です。

更に、本年付け加えたいのは、日本の人口減少に対し、我が国が今後適切に対処出来なければこれら2つの課題解決も覚束無いということです。

我が国の人口は2050年には1億人程度まで減少すると予測されています。現在より2,500万人人口が減少します。人口減少を食い止めるため政府は女性の特殊生涯出生率を現在の1.4から1.8まで回復する諸施策を取っています。

働き方改革、保育園の充実による働く女性の増加対策、外国人労働者の導入、AI等を活用した労働生産性の一層の向上等です。

それでも我が国の人口の減少は2050年に向けて不可逆的です。これからは女性の就業率を男性と同率まで上昇させることと、少なくとも65歳定年制を早期全面導入し、労働力人口の減少を食い止めると同時に研究開発力を強化し我が国産業の一層の高度化と国際競争力の強化に努めなければなりません。

また、人口を地方中核都市へ集約するコンパクトシティーの充実も喫緊の課題です。

世界の人口は2050年に向けて100億人に達すると予測されていますが、やがて生活水準の上昇に

伴ってどの国も人口減少過程に入って行きます。

我が国が人口減少課題を解決し、諸外国にその模範を示したいものです。

異常気象による自然災害の多発化への対処、政府債務の増大への対処、人口減少への対処は我が国だけの問題ではなく、やがて世界のすべての国が直面する問題です。

これらの問題に対処するために2015年9月国連で採択されたのが「SDGs」(Sustainable Development Goals)「持続可能な開発目標」です。

この目標は環境、健康、食糧、教育等に関する17の目標と169の詳細目標(Target)によって構成されています。2030年までに達成を目指します。その第1目標は全ての人を貧困(Poverty)から解放することです。

そして最後の第17目標はパートナーシップ(Partnership)です。世界の人々が手を携えて貧困を2030年までに克服しようということです。地球温暖化防止のため温度上昇を産業革命前から2度以内に抑えるには2050年にCO₂削減80%を達成しなければならず、これは地球のすべての人々が手を携えなければ出来ません。

SDGsで重要な視点は5Pとされています。

- ① People (人)
- ② Prosperity (繁栄)
- ③ Planet (地球)
- ④ Peace (平和)
- ⑤ Partnership (提携)

これらの5つの視点を実現しようとするのが、2025年大阪・関西万博です。この万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。我が国が世界に「SDGs」先進国であることを示す絶好の機会です。日本の英知、関西の総力を結集して21世紀の持続可能な社会モデルを提示しなければなりません。そして大阪がこの万博で再度復活しなければなりません。そのために地域の中核大学である本学に大いに期待したいと思います。

最後に、皆様方のご健勝をお祈りし、本年7月6日の経済学部同窓会へのご出席をお願い申しあげ、ご挨拶とさせていただきます。

東京待兼会だより

会長 西本 麗 (新28期)

東京待兼会では、東日本の同窓の交流促進のためさまざまな活動を行っています。開催した主な行事を紹介します。

1. 講演会・懇話会

法学部（青雲会）と共催で講演会及び懇親会を開催しています。春季はOFC（経済学部オープンファカルティセンター）とも共催です。

【春季懇話会】

5月31日、学士会館にて経済学部同窓会東京支部（東京待兼会）第16回総会／春季懇話会を開催。総会では新役員体制が承認され、その後の講話会には50名超が出席、大阪大学経済学研究科佐々木勝教授から「モラルと経済学」とのテーマでお話をいただきました。懇親会にも30名超の参加がありました。

【秋季懇話会】

11月10日、二松学舎大学にて開催。40名参加
西畑一哉氏（学校法人二松学舎常務理事、法学部新27期卒）が「漱石アンドロイドとAIの未来」とのテーマで講演。



2. 例会

「知の継承」をめざし例会（勉強会）を開催しています。毎回10～20名規模で開催。講師は基本的に同窓の持ち回りです。

- 第13回 3月17日 安田洋祐大阪大学経済学部准教授
「グローバル社会と日本経済の行方」
- 第14回 6月23日 閑林亨平氏
「現代インドネシアの政治と経済」
- 第15回 7月20日 久保恵一氏
「東芝事件とは何だったのか」



- 第16回 9月18日 吉田文人氏
「映画『僕の帰る場所』制作にあたり」
- 第17回 1月19日 西本 麗氏
「食糧増産における農業のイノベーションとSDGsへの貢献」
- 第18回 2月16日 上田廣幸氏
「定年後後悔しない為に、如何に過ごすか？－趣味の見つけ方：私の場合」
- 第19回 3月16日 石田一郎氏
「SDGsを実感するワークショップ」

3. ゴルフ部会

第35回コンペ

9月9日 昭和の森ゴルフコース

シニア軽井沢ツアー

7月23日～24日 プレジデントリゾート軽井沢

第14回初打ちコンペ

1月5日 昭和の森ゴルフコース



東京待兼会 (<https://tokyo-machikanekai.org/>)

告知

第17回 東京待兼会・青雲会合同春季懇話会を開催します

日時：2019年5月23日(木) 18:00～

場所：学士会館(千代田区神田錦町3-28)にて

講演：「顧客価値のイノベーション」

日本企業に求められる価値づくり経営

講師：延岡健太郎氏（大阪大学経済学研究科・経済学部教授）

同窓会懇親ゴルフコンペのお知らせ

恒例の「同窓会懇親ゴルフコンペ」を開催します。総会へのご参加に合わせて交歓の機会としたいと思います。お誘いあわせのうえ奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

日時：7月7日(日)

場所：関西クラシックゴルフ倶楽部（8組予約済み）
〒673-1123 兵庫県三木市吉川町湯谷567
TEL 0794-72-1231

参加費：2万円程度（昼食代、プレー後会食費込）
当日各自払いとします。賞品代は同窓会から助成します。

連絡先：大阪大学経済学部同窓会事務局
TEL 06-6850-5275（火・木・金の午後）
FAX 06-6850-5276
e-mail machikane@econ.osaka-u.ac.jp

名古屋待兼会だより

会長 近藤 俊雄 (新12期)

名古屋待兼会は、経済学部、法学部の卒業生を中心に昭和30年代に発足し、現在は理学部卒の卒業生も参加しています。愛知・岐阜・三重にお住いの大阪大学卒業生が主な会員です。

会合は「小の月の第三土曜日の18時から」を基本に、場所は名古屋の中心部に近いホテルで開催し、11月は総会、他の月は例会としています。毎回20名前後の出席で、例会の冒頭では会員が交代で様々なテーマで約30分話をし、その後は懇談です。ほぼ全学部の卒業生が顔を揃えることもあり、年5回の会合があるからこそ交流を深めることができる、それも名古屋待兼会の特色の一つです。

昨年11月の総会では谷崎経済学部長をお迎えし、ご講演をいただきました。



演をいただきました。

会合には新規会員の方が毎回のようにいらっしゃいますが、すぐに打ち解けら

れ、その後の会合に継続出席いただいています。大阪大学に学び、今現在を名古屋地区で暮らしているというのも何かの縁と思います。名古屋待兼会では、世代を越えた会員の輪がさらに広がることを願い、新たな会員の参加を心よりお待ちしております。

(同窓会事務局までご連絡ください。)

昨年総会・例会のテーマは以下のとおりです。

■ 2月例会 「民進党解党の渦中に感じたこと」

高木浩司 さん (S55・人科)

■ 4月例会 「尾張藩祖 徳川良直」

秋田量正 さん (S37・法)

■ 6月例会 「遺言と相続」

池堂芳郎 さん (S56・法)

■ 9月例会 「眼とカメラ」

西村高行 さん (S49・経)

■ 11月総会

経済学部長谷崎先生に「大学の近況と計量経済学入門」のテーマでご講演をいただきました。

第6回経済学部同窓会セミナー 2月13日 ガーデンシティクラブ大阪

「仕掛学による社会問題の解決に向けて」 大阪大学大学院経済学研究科・松村真宏教授

小さな「鳥居」でゴミのポイ捨て防止。思わず狙いたくなる男子小用便器の「的」は飛び散りを防ぐため。「ついしたくなる」感情を起こさせて人の行動を変える仕組みが「仕掛け」です。その原理や発想を「仕掛学」として体系化したのが、経済学研究科の松村教授。

セミナーでは、仕掛学の3つの原則（公平性、誘因性、目的の二重性：仕掛ける側と仕掛けられる側の目的が異なる）などを国内外の豊富な事例を交えながらご講演いただきました。その事例としては…

■ バasketゴールのついたゴミ箱

■ ゴミを入れると不思議な落下音が聞こえるゴミ入れ
ポイ捨てを防ぐだけでなくゴミを拾って街の美化につなげる試みです。

■ ローマの観光スポット「真実の口」をヒントにした「勇氣の口」

手を突っ込むと消毒液が噴射、手をきれいにしてもらおうという試み。天王寺動物園や阪大病院で行われた社会実験で大きな成果が実証されています。

■ 阪大キャンパスでは、憩いの場をインスタ映えスポットにという仕掛けが。

さらに運動不足解消を狙った仕

組みを使って、

■ JR大阪駅の階段を使った社会実験も予定されているので、楽しみです。

松村教授のゼミの取り組みで、もう一つおなじみなのが、西宮神社「福男選び」の向こうを張った「糸びす男選び@阪大坂」。新春の阪大坂を足に覚えのある者たちが駆け抜けます。

13回目を迎えた今年も大盛況で、学生や地元の方など約200人が出走。一番福を得た大学院生には石橋商店街の商品券1万円が手渡されました。このイベントには、阪大坂を大学のシンボルに、市境を隔てた商店街にさらに賑わいをという思いが込められています。

同窓会セミナー、終了後の懇親会も盛り上がりました！



期会、ゼミ会だより

新制6期(昭和33年卒)同期会「燦々会」

2018年11月22日、毎年恒例の同期会「燦々会」を、キタの料亭「芝苑」で開催した。出席者は寄る年波に勝てず7名に減少したが、ご欠席の藤田先生からは特別メッセージをいただき、一同昼酒を楽しみながら、人生から政治まで、幅広く和やかに懇談した。

来年95歳を迎えられる藤田先生を迎えて、再会することを約して散会した。



新制13期(昭和40年卒)同期会

毎年恒例となった「第13期同期会」を、2018年4月20日に大阪大学中之島センター7階の交流サロンで開催した。これまでは、2月に開催してきたが、「暖かくなってから」との希望もあり、今年からは4月の開催となり、また、昨年より、年令も考えて“ランチ会”に切り替えた。

今年は、卒業以来初参加の方を含め、18名が出席。冒頭、昨年に逝去された永繁氏と吉田氏への黙祷ののち、懇談に入り、全員の近況報告であったという間の2時間であった。その中で、熊本地震の被害にあわれた元・山鹿町長の甲斐氏から、その後の復興状況の報告もあり、我々もチャンスを見て熊本旅行を企画しようとの声もあがるなど、盛り上がった。

最後に、新幹事を選び、来年も4月の第3金曜日に開催することを決めて散会した。



新制16期(昭和43年卒) 卒業後50周年記念同窓会のご報告

2018年9月8日、卒業後50周年を記念し、「ガーデンシテイクラブ大阪」にて、同窓会を開催した。

前日には有志5名で豊中キャンパスを散策し、当日の懇親会には全国から28名の参加で、久しぶりの旧交を温め、近況を報告し合った。また、幹事会・同窓会事務局・大学渉外本部の協力により「経済学部同窓会の現況・学生時代の思い出・豊中キャンパス風景・大阪大学の近況と未来」などのスライド約130枚を投影し、楽しく賑やかなひと時を過ごした。

なお、懇親会の残余金は、「大阪大学未来基金(ゆめ募金)」及び「経済学部70周年記念事業基金」に、「経済学部昭和43年卒同期会有志」名で、寄付させていただいた。



新制35期(昭和62年卒)第1回同窓会

2019年1月19日、大阪梅田の「ガーデンシテイクラブ大阪」にて「第1回大阪大学経済学部第35期同窓会」を開催した。昭和62年の卒業以来、32年ぶりに初めて開催した全体での同窓会となった。参加者22名が、東京、高知、沖縄などからも集い、久しぶりの再会を皆で喜び合った。

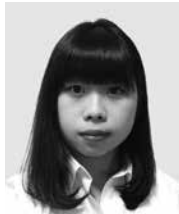
会の中で、同窓会全体の動きの共有化、集合写真撮影や各自の近況報告を行い、和気藹々とした楽しい会となった。

最後に「2020年1月25日(土)に第2回同窓会を開催」することを皆で合意し、閉会した。(来年もより多くの方のご参加をお待ちしています)



経済学部同窓会では、会員の皆さんの役に立つセミナーを開催しています。
開催案内は同窓会ホームページに掲載しています。ぜひご参加ください。

新幹事紹介



67期代表幹事
村山 愛子

この度、同窓会67期代表幹事を務めさせていただくことになりました、村山愛子と申します。

経済学部での4年間はとても濃く、充実したものでした。その中で、同学年間の「横の繋がり」と、先輩や後輩との「縦の繋がり」、この二つの繋がり大切さを学びました。

まず「横の繋がり」です。サークル活動や部活、アルバイトや資格勉強。経済学部生の各々が、多彩な課外活動に取り組んでいます。この一見バラバラに見える学部生が、示し合わせたようにゼミ選びに迷ったり、就職活動に悩んだり、大きな時間の流れの中では足並みを揃えて成長していく、それを感じるの私は好きでした。多くの経験やイベントを通して、皆が潜在的に仲間意識を持っています。

来年度以降も大学生活で培ったこの繋がりを大切にしていきたいと感じています。

次に「縦の繋がり」です。OBOG交流会では年代を問わず多くの先輩方とお話しすることが出来ましたし、ゼミでは悩みを親身になって聞いて下さる先輩方がいらっしゃいました。その背中が大きく、当面私の目標でもあります。関わって下さった先輩方には感謝の気持ちでいっぱいです。私も後輩たちにとっての「大きな背中」になれるよう、これからも精進して参ります。

代表幹事を務めさせていただくのは、この2つの繋がりをさらに深めていく良い機会だと感じています。同窓会のさらなる発展のため、微力ながら努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

平成30年度経済学部卒業生就職先 (大学院卒を含む) (順不同)

就職先	人数	伊藤忠丸紅鉄鋼(株)	1	東海旅客鉄道(株)	2	四国電力(株)	1
文部科学省	1	J F E 商事(株)	1	九州旅客鉄道(株)	2	大阪ガス(株)	1
近畿財務局	1	豊田通商(株)	1	阪急阪神ホールディングス(株)	1	KPMGコンサルティング(株)	1
大阪府	2	椿本興業(株)	1	京阪ホールディングス(株)	2	PwCコンサルティング合同会社	1
大阪市	1	(株)エディオン	1	大阪市高速電気軌道(株)	1	アビームコンサルティング(株)	2
旭化成ホームズ(株)	1	(株)ニトリ	1	全日本空輸(株)	1	(株)クニエ	1
住友林業(株)	1	日本銀行	1	鈴與(株)	1	(株)m o o b l e	1
大和ハウス工業(株)	1	農林中央金庫	2	NEXCO西日本コンサルタンツ(株)	1	(株)アスパーク	1
サントリーホールディングス(株)	1	(株)国際協力銀行	1	K D D I (株)	1	楽天(株)	2
江崎グリコ(株)	1	(株)日本政策投資銀行	1	(株)NTTドコモ	2	(株)J T B	1
日本たばこ産業(株)	1	(株)みずほフィナンシャルグループ	3	(株)ドコモCS関西	1	(株)東急エージェンシー	1
(株)ワコー	1	(株)三井住友銀行	7	エイチアールワン(株)	1	(株)読売新聞東京本社	1
富士フイルム(株)	1	(株)三菱UFJ銀行	2	オープンリソース(株)	1	(株)山陽新聞社	1
旭化成(株)	1	(株)リソナホールディングス	1	みずほ情報総研(株)	1	朝日放送テレビ(株)	1
住友化学(株)	1	三井住友信託銀行(株)	5	伊藤忠テクノソリューションズ(株)	1	(株)BS日本	1
(株)福原精機製作所	1	(株)S M B C 信託銀行	1	(株)T K C	1	E Y 日本有限責任監査法人	3
(株)クボタ	1	(株)福岡銀行	1	(株)エヌ・ティ・ティ・データ関西	1	PwCあらた有限責任監査法人	1
シャープ(株)	1	岡崎信用金庫	1	(株)オービック	1	有限責任監査法人トーマツ	1
パナソニック(株)	1	オリックス生命保険(株)	1	(株)オロ	1	タイ財政政策事務所	1
(株)キーエンス	1	三井住友海上火災保険(株)	1	(株)ポケモン	1	日本政策金融公庫国民生活事業労働組合	1
三菱電機(株)	2	東京海上日動火災保険(株)	1	(株)ボルテージ	1	東京海上日動火災保険労働組合	1
富士通フロンテック(株)	1	S M B C 日興証券(株)	1	(株)マネーフォワード	1	就職計	140
富士通(株)	2	みずほ証券(株)	1	(株)ルクサ	1		
トヨタ自動車(株)	1	(株)大和証券グループ本社	1	(株)ワークスアプリケーションズ	1	進学先	人数
ダイハツ工業(株)	1	野村證券(株)	1	(株)野村総合研究所	2	大阪大学大学院	14
いすゞ自動車(株)	1	三井住友カード(株)	1	中央コンピューター(株)	1	一橋大学大学院	1
三菱商事(株)	1	三井不動産リアルティ(株)	1	日本アイ・ピー・エム・サービス(株)	1	進学計	15
住友商事(株)	2	森トラスト(株)	2	日本アイ・ピー・エム(株)	1		
伊藤忠商事(株)	1	東急不動産(株)	1	北陸電力(株)	1	合計	155
丸紅(株)	1	大和ライフネクスト(株)	1	関西電力(株)	3		

平成31年2月末現在、大学で集計されたデータをもとに作成したものです



株式会社平和堂
代表取締役社長兼COO
平松 正嗣 さん
(新29期)

平和堂本部で開催の「HATOC夏まつり」にて

合唱に打ち込む毎日

学生時代は男声合唱団に打ち込みました。授業もそこに、昼休みには練習、その後は麻雀をし、夜練は、十三の幼稚園を借りて練習という日々でした。4回生の1月に最後の演奏会があったため、4年間クラブ漬けの日々を過ごしました。

ゼミはマーケティングの大澤ゼミに所属しました。当時は、まだ珍しいパーソナルコンピュータで、プログラミング言語のBASICを用いて企業の事業シミュレーションを行いました。簡単なものでしたが、コンピュータに対する気持ちのハードルは下がったのか、社会人になってから、折々、コンピュータとの付き合いが増えました。

「チャンネルを合わせろ」

ソニー入社後は厚木工場の勤労課に配属され、約4,500名の事業所で人事を担当しました。仕事上も、指示よりも自発的に進められたことや、仕事以外でも当時開発中のコンパクトディスクのコンサートやMTV（日本初登場）放映など、ソニーには何事も自由にさせてくれる雰囲気がありました。

厚木工場ではスキー部に入部し、毎週末スキーに行きました。平和堂の社長就任で回数こそ減りましたが、今でも続いている趣味です。

入社4年目に海外実務者研修として米国のビデオテープ工場に赴任し、帰国後は国際企画部で外国との通商問題などに携わりました。日米半導体摩擦の時期には、インテル社でソニー製のテレビやAV機器の商品群を紹介し、「これに合う半導体を作ってくれたら、アメリカの半導体を買いたい」と説明したこともありました。

90年から盛田昭夫会長の秘書を担当しました。盛田会長には「チャンネルを合わせろ」とよく言われました。こちらが一方的に話しても、相手のチャンネルに合っていないければ何も伝わりません。ソニーは常に新しい商品を世に出す企業ですから、「どう伝えるか」は非常に重要な意味を持ちます。「聞き損ないは言い手の粗相」。平和堂でも同じことを話しています。

エンターテインメントの世界へ

その後、パソコン用記憶媒体であるMOやFDD、CD-ROMの駆動ドライブの全世界での販売を担当し、世界中への出張など、多忙な日々を過ごしました。この分野は数カ月周期で高性能商品が発売される一方で、これらはビジネス用のパソコンには過剰スペックであったため、違和感を持っていました。その時出会ったのがエンターテインメントの世界でした。ゲームソフト「ファイナルファンタジー」を制作・販売するスクウェア関係者の「ディズニーを振り向かせるんだ」との話に魅力を感じ、39歳で転職しました。

スクウェアでは、開発部門以外の経営・管理部門から、海外版制作、倫理部門を経験しました。思い出は色々ありますが、今、3作目が発売されているゲームソフト「キングダムハーツ」の契約交渉などに携わりました。交渉は難航しましたが、提携に成功。ゲーム発売後は、完成度の高さを評価してもらえました。

暮らしになくなくてはならない企業づくり

平和堂には2010年に入社しました。将来は街づくりに携わりたい、出来れば関西でビジネスがしたい、と考えていたところ、当時の夏原社長とお会いする機会がありました。その際小売業の話は全く出ず、地域の困りごとを、単なる福祉ではなく、継続的に解決出来る仕組みを作りたいとの言葉に感銘を受け、入社を決意しました。

2017年、60歳を迎える年に社長に就任しました。平和堂は、「地域密着ライフスタイル総合（創造）企業」として、滋賀県を中心に、近畿や東海・北陸で、ゆりかごから墓場まで、暮らしの中になくなくてはならない企業を目指しています。そこでは、住民の皆さんが社員、お客様であり、仕事と生活が密着しています。例えば、地域行事のために会社を休む人も多いのですが、会社はこれを受け入れています。また、2010年に開始した平和堂ホーム・サポートサービス（電話・FAXで注文した商品を即日配達するサービス）では、県内の世帯数の約95%をカバーしています。お買物だけではなく、雑草刈り、雨どい修理等のお困り事に対応しています。

私が入社した当初、平和堂は、トップダウン（上位下達）が強いと感じました。オープンな雰囲気になりたいとコミュニケーションを向上させる工夫をしています。例えば、2年前に本部を新しくした際、営業部門を1フロアにし、私は今も営業統括本部長を兼務していますので、そのフロアの真中にデスクを持っています。

リアルな世界を楽しむ

今の学生さんは真面目だと思います。これまで大切に育てられてきたためか、どうしても内向きであることが多い様に思います。一方で、インターネットを介して、ワールドワイドの壁のない世界で楽しむことには長けています。仕事だけでなく、遊びや旅行、何でも構いませんから、ぜひリアルの世界での行動範囲を広くし、リアルに人との接点を多く持ってほしいと思います。



ArchiTek株式会社
取締役CFO
(株)アドバイザー・ブレイン
代表取締役
藤中 達也 さん
(新33期)

充実した大学生活～アイセックと北野ゼミ

学生時代はAIESEC（アイセック：国際経済商学学生協会）の活動に打ち込みました。海外のアイセックと相互に受入れ企業を見つけ、学生の海外インターンシップを行う活動でした。協力機関の紹介状を持って大企業を訪ね、ご協力をお願いして回りました。厳しいお言葉を頂くこともありましたが、皆さん総じて協力的でした。

ゼミは北野利信先生のご指導のもと経営組織論を学びました。ハーバート・サイモンの著作等で学んだことが印象に残っており、「人間の意思決定能力には限界があること、その克服のために組織が必要」とのことでしたが、今思えばAIにつながるテーマでした。北野先生は海外と日本の違い、東京と大阪の違いをよく話され、国立大学卒業生として、日本のために広い視点で行動しなさいと熱く語っておられました。

東京の銀行に就職、何事にも臆せずに発言、先輩に可愛がられる

1984年に日本興業銀行（現みずほ銀行）に就職しました。当時、興銀は阪大出身者が少なく不安でしたが、北野先生に相談したところ、海外支店も多く産業金融を行っているので君に向いていると言われ決心しました。同期新入社員119人のうち関西の大学出身者は10数名（阪大2名）でしたが、懇親会は自分も含めて少数派の関西人が盛り上げていたのが印象的でした。

もちろん仕事も積極的に取り組みました。最初の外国為替部では、当時では珍しかった表計算ソフトを導入して、先輩方が電卓でやっていた集計作業を簡単にできるようにしたところ、コンピュータに強いやつと評判になり、新設の金融商品開発部に異動後はデリバティブや証券化など最先端の金融技術の習得と実践を経験し、総合資金部では銀行の自己資金でのトレーディングなどを経験しました。9年間と短い間でしたが、海外のプライシング手法（DCFや確率統計で理論価格を算出する）が身についたお陰で現在も仕事に大変役立っています。何事にも臆せず、自分の意見を発言していたからか、関西出身の面白いやつがいると先輩方に可愛がってもらいました。

家業を手伝い「継ぐ、売る、たたむ」を体験

実家は建材問屋と合板製造の2社をもつ商家でした。父の病気を機に1993年3月に銀行を退職し、岸和田にあった合板工場をみることになりました。従業員150名、年商50億円の会社でしたが、運転資金確保のため銀行回りばかりしていました。

1995年に阪神淡路大震災があり、これが悪い意味での「ダメ押し」となりました。復興需要は特需ではありましたが、向こう10年分ぐらいの地場の需要が一気に押し寄せ、結果的に国内他地域や海外から建材が流入し、その後復興需要が一段落すると地場需要が落ち込み、経営環境が一層厳しくなりました。97、98年ころは金融機関自身も厳しくなり、運転資金の確保もままならず、家業の建材問屋はM&Aで売却し、98年に父が肝臓ガンで余命少しとわかり、合板工場もたたむことになりました。父の方針は、従業員らの給料や退職金は全て支払うこと、地元の取引先に迷惑をかけず、大手企業には担保と父の個人保証で弁済せよと明確でした。役員だけで会社整理の作業を進め、夏のお盆明けに社員食堂に従業員を集め、父から社員への檄文を読み上げ、給与・退職金を手渡し、事業停止を宣言したことは生涯忘れられません。管財人の先生から藤中さんも自由の身になったと告げられたのは、2年後の39歳の時でした。

様々な人とのつながりに感謝

その後一番に連絡をくれたのが、阪大の同級生で公認会計士の妙中茂樹君でした。銀行員、家業の経験を生かして企業再生業務を手伝わないかということで彼の事務所まで仕事を始めました。また、アイセックの先輩からはIPO（新規株式公開）を目指す新興企業向けのIR（インベスターリレーション）のコンサル業務を紹介してもらいましたし、経済学部同窓会の会長を務められた篠原祥哲先生や北野ゼミの先輩の小林敏男先生から阪大医学部発ベンチャーのサポートをするお話も頂きました。

昨年2月からは、ご縁あって、ArchiTek株式会社（アーキテック）というベンチャー企業の取締役CFO（最高財務責任者）を務めています。パナソニック出身者が立ち上げた超小型AI&画像処理プロセッサを開発する会社です。5億円の資金を調達すると共にNEDOのプロジェクトを大企業と共同で受託し、今年末にはサンプルLSIの第1号ができる予定です。これまでの経験の集大成として当社の発展に貢献したいと思っています。

大学時代にたくさんの友人をもつこと

これまで多くの会社でお世話になってきましたが、大学時代の友達をはじめ、多くの方の導きのおかげで失業することなく、ここまでやってこれました。良い友達を作り信用と信頼を失わないこと、支えあえる仲間は何よりも大切だと思います。学生の皆さんには大学時代に多くの友人、信頼しあえる友達をたくさん作って欲しいと思っています。

経済学部70周年記念事業寄付者名簿

個人 (50音順)

浅野正巳
浅原孟
芦田一平
阿部顕三
阿部修二
天野太球磨
安藤康志
井合昌弘
飯田祐子
家居博行
居潟圭祐
池内祥見
池田吉成
池辺正規
石ヶ坪洋史
石川一志
石川正明
石田景三
石田高仁
石丸正幸
伊藤康彦
伊藤繁男
稲垣浩作
稲葉郁夫
井上一幸
井上ゆかり
入江一郎
岩尾満藏
岩倉煌一
岩永充夫
上田さちえ
上田元彦
宇川八千代
白井正樹
白田純夫
宇藤祐輔
大井信一

大井康生
太田亘健
大泰司健雄
大竹文雄
大塚誠之
大槻重光
大西匡一郎
小笠原士郎
岡山精一
小川泰造
小奥田好秀
小奥田禮三
小倉義人
小田翔平
小越智忠藏
小野莊太郎
小野哲生
小恩地一樹
甲斐利幸
香月英樹
金井玲史
金田建三重
蒲井信也
川島常紀
川島剛己
河添正宣
木川孝久
吉木健久
木下萬藏
木下泰一
木村富美子
木田宏昭
国保惠一
栗原貴子

黒川昌洋
香西紀孝
高野達二
高興栢充彰
小暮恒夫
小島克雄
小島勝利也
小児玉欣也
後藤信三
小西一郎
小林克一
小林敏男
小南大智
小南晴三
近藤敏博
坂下昌朗
坂本悟之
阪本義子
左古洋一
佐竹忠一郎
佐藤悦治
佐藤拓郎
佐藤達昭
佐野光明
佐村光男
参鍋衛東
志賀恒元
篠原祥政
柴崎俊馨
清水博文
清水嚴夫
新城開陽
新宮陸一
杉浦秀樹
鈴木幹郎
Seki Erika
関忠行

関哲夫
仙田二郎
大田良夫
高岡伸一
高木正彬
高戸順一郎
高野浩一
田上隆三
瀧洋大
瀧原直夫
田口清美
田窪美葉
竹内惠行
竹岡敬温
武田興一
竹田裕彦
竹館秀治
橘木俊人
谷内増夫
谷垣泰久
谷崎久志
谷本祐之介
田端太郎
玉江尚一
玉村伸二
樽床本淳三
津田多聞
筒井清子
綱西祥賢
寺居清志
土居卓生
堂目良範
戸山秀和
徳山秀和

外山幸平
豊福典哉
中川谷禎昭
中谷裕昭
永谷一輝
中野重宏
中林政弘
中村邦夫
中村邦晴
中村健一郎
中村竹一
中村宣一
中村典男
西尾浩宏
西尾方征
西尾川周一
西川正康
西澤嘉孝
西本雄二
根来茂樹
野口滋己
野田憲一郎
野中誠一
野原康彦
野間一博
橋本哲夫
八林武保
林範一
林正博
原田賢一郎
鳩澤清彦
東井口紀之
樋沼重直
平廣澤直人

廣嶋孝策
弘瀬明男
福重元嗣
福田祐一
福村節治
福本桂太
藤井洋
藤川達夫
藤田佳久
船越公太
古川実
文箭安雄
堀田俊之
堀田尚孝
前田信二
松下鎮
松谷博司
松本雅善
松本幹生
水野孝治
光岡貞夫
南俊光
三宅實

宮下誠
宮田由紀夫
宮本香
宮本又郎
宮本芳和
村井純彦
村上均
村上睦
森英文
森康次
森重滋郷
八木雅三
安竹素之
藪本冬樹
山浦清
山口啓一
山口高弘
山下護
山田健一
山中忠夫
山本千映
山本恒和
山本信孝

湯川攝子
湯川秀男
油木宏實
横島啓太郎
横山公一

吉川淳
吉寄富雄
吉田栄一
吉田二郎
吉田正明

吉田六男
脇本高寛
渡辺邦泰
渡部重明

企業・団体

アサヒグループホールディングス株式会社
有限責任あずさ監査法人
関西電力株式会社
株式会社クボタ
セイコープロセス株式会社
日建産業株式会社
野村證券株式会社
日立造船株式会社
丸二倉庫株式会社
株式会社三井住友銀行
三井住友信託銀行株式会社
株式会社ローソン
大阪大学経済学会
いちご会（新制15期等）同窓生有志一同
経済学部昭和43年卒同期会有志

経済学部70周年記念事業にご協力くださったみなさまへ

2017年10月1日に開始した経済学部70周年記念事業の募金活動を今年の3月末に無事終了し、個人様、企業様より総額3,000万円を超える寄付をいただきました。また、昨年の10月13日には記念シンポジウムを開催し、130名の方がご参加くださいました。記念事業の企画から募金、シンポジウムの開催まで、経済学部同窓会の皆様には多大なご支援を賜りました。ここに記して感謝申し上げます。



いただいた寄付金に関しては、趣意書に示した通り、経済学部生の大学院博士後期課程への進学や海外留学の経験等を促進することに使わせていただきます。みなさまの厚意を無駄にすることのないよう、経済学研究科教職員一同、ますます精進し、教育と研究に全力を尽くす所存です。また、70周年記念事業の活動を通じて強まった絆を活かし、研究科と同窓会の関係をさらに発展させていくよう努めてまいります。今後とも、ご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

経済学部70周年記念事業委員会委員長
経済学研究科教授 堂目 卓生

会員管理部会から

1. 同窓会WEB名簿の活用と登録情報の確認のお願い

○WEB名簿の活用

同窓会では、2014年2月から同窓会のホームページにWEB名簿を作成しております。同窓会ホームページのトップページからアクセスし、ログインIDとパスワードを入力すれば会員名簿をご覧いただけます。会員情報の検索のほか、ご自身の会員情報の変更手続きも可能になっております。

年会費を納入いただいた方は、納入いただいた年度と翌年度についても名簿閲覧ができます。同窓会年会費(5,000円)未納の方は、ご本人のデータしか閲覧できません。WEB名簿利用のためにも、同封の払込取扱票もしくは銀行振込により年会費納入をお願いいたします。

まだWEB名簿をご覧でない方は、是非一度ご覧ください。「WEB名簿の利用方法」と「WEB名簿使用のルール」につきましては、同窓会ホームページの「名簿について」に掲載しております。ご利用前にご一読ください。

○登録情報の確認

会員データ確認票を同封していますので、登録データをご確認いただき、修正・変更等が必要な場合は、WEBページから変更をお願いいたします。(FAXで同窓会事務局までお送りいただいても結構です)

2. 同窓会特典、ガーデンシティクラブ大阪のご利用について

年会費あるいは協賛金を納入いただいた方には、ガーデンシティクラブ大阪が利用できる同窓会会員証を送付させていただきます。

当同窓会は大阪梅田のハービスプラザ6階にあります会員制クラブ「ガーデンシティクラブ大阪」(GCCO)に加入しております。会員証をご提示いただくと、ガーデンシティクラブ大阪をメンバー扱いでご利用できます。

手軽な同窓会・OB会プラン(会員割引、記念写真サービス)もありますのでご活用ください。

郵送料を節約するため、会員証は隔年発行で有効期限は2年とさせていただきます。

3. 年会費納入のお願い

同窓会の活動は、会員の皆様の年会費で成り立っています。財政事情厳しい折から、ぜひとも年会費(5,000円)の納入をお願いいたします。

○同封の払込取扱票による納入

同封の払込取扱票により、お近くのコンビニエンスストア(払込取扱票の裏面に記載)もしくは郵便局からご入金いただけます。

ただし、コンビニ収納は定額(5,000円)のみのお取扱いとなります。

○口座振替による納入

年会費はアプラスの「オートネットサービス」契約により、銀行等口座からの自動振替が利用できます。振替日は7月16日です。口座振替をご希望される方は、同窓会事務局までご連絡ください。後日、申込み書類をお送りさせていただきます。

口座振替は翌年度からとなりますので、2019年度につきましては、同封の払込取扱票により払い込みをお願いいたします。

○銀行振込

銀行振込の場合は下記口座をお願いいたします。

三井住友銀行 豊中支店(店番号154) 普通1499002
大阪大学経済学部同窓会事務局 代表 千島あけみ

4. 協賛金ご協力をお願い

会則により卒業後(正会員資格取得後)40年を経過した方には、年会費が免除されます。しかしながら、同窓会活動の基盤となる財政状況が厳しい状況から、年会費が免除された方で志のある方には、協賛金のお願いをさせていただいております。協賛金は1口1,000円で、できれば3口以上をお願いしております。同封の金額の記入されていない払込取扱票によりご入金をお願いいたします。

連絡先

大阪大学経済学部同窓会事務局
TEL 06-6850-5275(火・木・金の午後1時~5時)
E-mail machikane@econ.osaka-u.ac.jp
FAX 06-6850-5276

古い名簿の処分にお困りの方

業務委託先 株式会社サラトへご送付ください。

同社にて適切に処分いたします。※送料は個人負担にてお願いします。

【送付先】〒670-0948 姫路市北条宮の町172 株式会社サラト 名簿回収係

事務局からのお知らせ

■第23回総会(7月6日(土))にご参加ください

今年は2年ごとの総会の開催年であり、7月6日(土)、リーガロイヤルホテル大阪において開催します。記念講演は、住友商事株式会社の中村邦晴会長にお引き受けいただきました。持続可能な企業経営について興味深いお話が伺えることと存じます。

当日は、総会、記念講演、懇親パーティーの3部構成で開催します。ご都合の良い時間からの参加もできます。パーティー終了後、同期やゼミ生との旧交を温める機会にもしていただければと思います。同窓会の皆様には、友人、先輩後輩お誘いあわせのうえ、ふるってご参加いただきますようお願い申し上げます。

■経済学部ホームカミングデイ(5月3日(金))を開催します

毎年5月のゴールデンウィークに開催される大阪大学ホームカミングデイにあわせて、経済学部ホームカミングデイを豊中キャンパスで開催します。

大学のホームカミングデイ懇親会が終了後、13時45分から経済学部本館中庭会議室で開催します。ご家族とご一緒にご参加いただけます。詳細は、経済学部同窓会のホームページ(<https://machikaneyama.jp>)でご確認ください。経済学部長の谷崎先生にもご出席いただきます。ぜひお誘いあわせのうえご参加ください。参加費は1,000円です。お待ちしております。

■経済学部70周年記念事業へのご協力ありがとうございました

本紙の堂目先生からのメッセージにありますように経済学部70周年記念事業実施のための募金活動に同窓生の皆様から多大なご協力をいただきました。心からお礼申し上げます。後輩である経済学部生、また経済学部・経済学研究科の活動を支援するため、今後も同窓会として協力してまいりたいと思います。引き続き皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。